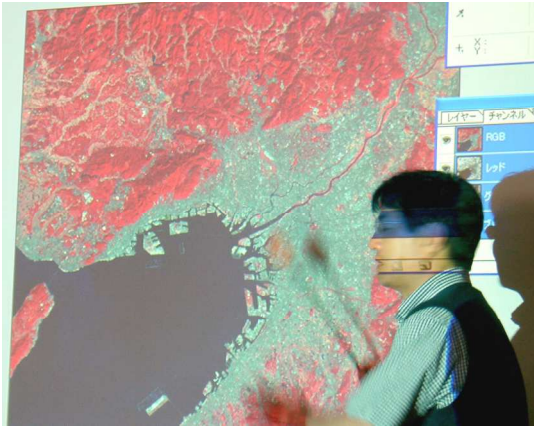


## 第14回テーマ：宇宙からみた六甲山



上空700キロから眺める

## 講演内容

- ①物理：赤外放射強度  
宇宙からみた六甲山
- ②歴史：風水学の発達  
京の鬼門、神戸の鬼門
- ③地理：地形と気候  
六甲風と阪神タイガース
- ④数学：ベクトル 内積
- ⑤家庭：六甲風と脳梗塞

実施日：平成16年5月15日（土）  
午後1時～3時55分  
場 所：六甲山自然保護センター内  
レクチャールーム



講師：<sup>みやざき</sup>宮崎 <sup>ひろし</sup>ひろ志さん  
プロフィール

1959年神戸市東灘区生まれ。神戸大学工学部環境計画学科卒業。博士（工学）、一級建築士。現在、兵庫県立人と自然の博物館研究員、兵庫県立大学講師。専攻は建築学、都市環境計画学。

## 総会後の記念講演はひとほくの宮崎さん

新緑がまぶしいさわやかな六甲山で、当初初めての平成16年度総会を開きました。午前中は会員が集合し、事業報告や会則等について話し合いました。

総会終了後、午後からは記念講演として県立人と自然の博物館研究員の宮崎さんにご出講いただきました。宇宙からというこれまでにない大きなスケールで六甲山を見つめることができました。

## 六甲山は真っ赤だった

人工衛星からの映像に写る六甲山にビックリ！なんと真っ赤でした。驚きながらも話を聞いていくと、この赤は緑地を表示しているということでした。神戸は六甲山のお陰で国際レベルの緑地を持っていることを改めて理解し、安心と同時に六甲山の重要さを確認しました。宮崎さんのフランクな感じと優しい語り口により、難しい内容を理解しつつ、和やかな時間を過ごしました。



六甲山の強烈な赤にくぎづけ

## 参加交流が板についてきた

市民セミナーの回数を重ねるうちに、参加者同士の交流が見えてきました。会員の泉さんが昼食時におにぎりと手作りの煮物を持ってこられ、おいしく頂いたりするなど、知らずのうちに六甲山上での交流と楽しみができ、嬉しく思いました。

また、今回当会の赤字運営を助けていただきたく、茶菓子コーナーにカンパ箱を設置しました。ご協力いただきありがとうございます。皆様のご厚意に感謝します。

※詳しくは1～2ページをお読みください。

## 参加の感想

## 山内 邦子さん

宇宙から世界各地の緑の分布と比較しながら六甲山の緑の多い画像を見せていただき、その重要性和私たちが無意識のうちにその恩恵に預かっていることを改めて再認識しました。もし、明治のはげ山のままであったらと想像すると、次代のためにも緑を守り育てなければと考えさせられました。

1時間目から予備の時間まで、先人の知恵のすばらしさや、野球の解説にもないような六甲風のお話など、身近な例を取り上げて分かりやすくお話をしていただき楽しませていただきました。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会

後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館  
灘区役所 神戸市教育委員会



# テーマ：宇宙からみた六甲山



## 第14回市民セミナーの流れ

### 講演

#### 市民セミナー

1. あいさつ : 13:00~13:10
2. 講演 : 13:10~14:40
3. 質疑応答 : 14:50~15:15
4. 懇談会 : 15:15~15:55

- ①物理：赤外放射強度～宇宙からみた六甲山
- ②歴史：風水学の発達～京の鬼門、神戸の鬼門
- ③地理：地形と気候～六甲風と阪神タイガース
- ④数学：ベクトル 内積
- ⑤家庭：六甲風と脳梗塞

授業仕立てで  
進めます！

### 講演のあいさつ(宮崎 ひろ志さん)

今日のレジュメを見て何をするのか不安かもしれませんが、気軽にお聞き下さい。

今、地球人口は一日に20万人増えています。このまま街を作り続けていくと、地球はパンクしそうです。人が自然を壊さずに生活するにはどうしたらいいのか考えてみたいと思います。



### 講演内容

#### ■ 1時限目：物理 赤外放射強度

人工衛星ランドサットがとらえた神戸の映像写真。上空700キロ、2001年に撮影したものである。宮崎さんの学生時代にはこの種のデータが48万円で作られていたが、現在は10万円位。しかし今回はアメリカのGLCF(メリーランド大学)サーバから無償でダウンロードしたもの。

(<http://glcfapp.umiacs.umd.edu:8080/esdi/index.jsp>)

赤色の部分が緑地である。六甲山が五助谷断層を境に、2つの山塊から成っているのが分かる。大阪市の緑被率6.7%、車窓などから緑が多いと感じる東京都区部はなんと6.5%で、実は大阪のほうが緑は多かった。



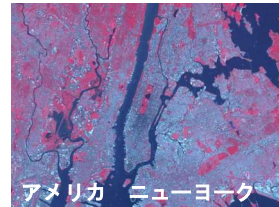
真っ赤な六甲山

(衛星画像は緑地を見やすくするため赤色で表示する)

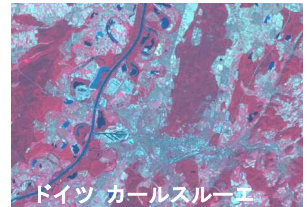
### 外国と比べてみる

アメリカ：大都会ニューヨークは緑が多い。

ドイツ：森の中に原子力研究所がある。屋上緑化が多い。ベンツ社のビルの屋上も緑だそう。

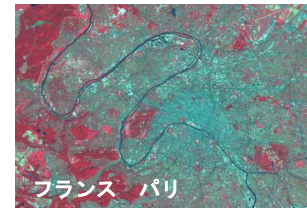


アメリカ ニューヨーク



ドイツ ガールスルーエ

フランス：パリ市内にも大きな緑地が残されている。  
メキシコ：真四角の耕地が整列する。右ははげ山で草が生えている程度。明治時代の六甲山みたい。



フランス パリ



メキシコ

神戸は緑が国際レベル並にある。六甲山は神戸にとってありがたい存在なのである。

2時限目以降は問題形式で始まった。(答えは次のページにあります。)

#### ■ 2時限目：歴史 風水学の発達

[練習問題]

左右の語句のうち関係するものを線で結べ。

- |      |     |
|------|-----|
| 表鬼門・ | ・南西 |
| 裏鬼門・ | ・北西 |

表鬼門、裏鬼門など一般に広まっている家相は京都の人が考えた。鬼門にはトイレと釜戸を作るなどという。家相をかりて先人の知恵を伝える。京都では、裏鬼門は比叡山、表鬼門は淀川で、どちらかの方向に風が吹く。

#### ■ 3時限目：地理 地形と気候

[準備問題]

甲子園名物「浜風」は次のうちどちらか。

- (ア) センターからバックネット方向に吹く風
- (イ) ライトからレフト方向に吹く風

六甲山に沿って東西に横風が吹く。



■ 4時限目：数学 ベクトル

〔山勘問題〕

次のベクトルのうち、内積が0とならないものはどれか。

- (1) 白雪と剣菱 (2) 呉春と白雪  
(3) 呉春と剣菱

ヒント：二つのベクトルが直交するとき、内積は0になる。白雪（伊丹） 剣菱（御影） 呉春（池田）

おいしいお酒の理由

発酵した酒を冷ます技術は、風に当てること。（寒づくりはおいしさの秘訣。）おいしいお酒の条件とは、①六甲おろし、②山田錦、③宮水の3条件である。六甲風があるから冷ませる。ちなみに呉春は猪名川の風で冷ますそうだ。

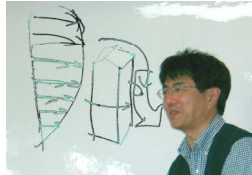
■ 予備：家庭 六甲風と脳梗塞

「脳梗塞になりやすい環境」とは？

断熱のない家は脳梗塞になりやすいそうだ。立った時に頭の温度と足下の温度差が5度以上違うと危険。足の血管が縮まり、血液が頭の方へ上昇する。冬、暖かい居室から寒いトイレや風呂場へ行くときの温度差が原因で亡くなる人も多い。これをヒートショックという。予防方法は、①頭の温度を下げる、②床暖房にする。ストーブ類（空気を暖める器具）はやめた方がいい。（暖かい空気は上昇するため）

質疑応答

ビル風のしくみ、風を循環させるのには暖炉がおすすすめ等、家の中での風の利用方法について説明していただいた。



ビル風のしくみを解説

2時限目の答え：表鬼門ー北西、裏鬼門ー南西

3時限目の答え：(イ) 4時限目の答え：(1)

◆参考・配布資料など：

- ・レジュメ配布「これが宇宙から見た六甲山」
- ・問題用紙

兵庫県立人と自然の博物館  
〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目  
TEL：079-559-2001 FAX：079-559-2007  
URL：http://hitohaku.jp/ Mail:root@hitohaku.jp

◆カンパに感謝！ありがとうございました。

カンパ箱へのご協力誠にありがとうございました。集まりました金額1,352円については、次回の市民セミナーの茶菓子代にさせていただきます。

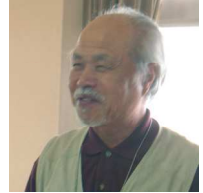
◆報告書4月号(vol.13)の訂正

第13回の市民セミナー報告書につきまして、2ページの上段顔写真が井上和子さんとなっておりますが、正しくは稲田晴紀子さんです。また、同じく2ページ小坂さんの参加の感想につきまして、8行目に秋の庭とありますが、正しくは私の庭です。訂正と同時に詫言申し上げます。

新たな顔ぶれ～感想文をお願いしました～

参加の感想 村上 定広さん

幼少から少年期を過ごした六甲山は、常に気になり、「六甲山」の言葉の響きを聞くたびに、その一瞬は自分の少年時代に立ち返る。そんな六甲山でボランティア活動につられて参加したのですが、宇宙から見た六甲山の凄い映像を拝見出来感動致しました。随分と緑の多さに安心しましたが、同時に子供の頃に山肌をみせた斜面で水晶拾いをしたことも思い出されました。そしてこのセミナーの事を友人達に知らせねばと手紙を書きました。



参加の感想 岡井 敏博さん

初めて参加させていただきました。久しぶりの六甲山で俗世の仕事を離れてリフレッシュできました。さて、「授業」は宇宙から六甲山を見るとどうなるかというテーマでしたが、六甲山があつてこそ、風が吹き、水が流れ、お酒もタイガースも人の生活も歴史も左右されるということで、改めて六甲の存在の大きさが鮮明になった気がしました。昔からなじんできた「登る山」とは違う楽しみ方が発見できました。ありがとうございました。



参加者の声 アンケートより

◆セミナーの感想

- ・時間割と優しい語り口で、小学生に戻ったような気分だった。
- ・世界の各都市と神戸を緑化状況から比較し、六甲山の役割が非常に大きいことがよくわかった。
- ・酒蔵の位置が風の方向に関係して異なっているのは面白かった。
- ・今回のテーマからどんな難しいお話かと思っていたが、とても分かりやすく興味深い話だった。
- ・住居に関する生活の知恵は役立ちそう。

◆参加者：28名（順不同・敬称略）

宮崎ひろ志	澤田 中	石田 澄子	小坂 忠之
村上 定広	三村栄三郎	西尾 智明	荒井 貴夫
近藤 佳里	山内 邦子	岡井 敏博	戸田 清彦
泉 美代子	兼貞 力	山本 悟而	八木 浄
北山健一郎	青木 光子	高光 正明	堂馬 英二
米村 邦稔	松井 光利	小野 律子	中川貴美子
遠井 方子	藤井宏一郎	中野 一	菖蒲 美枝